



第65回全国消防技術者会議の開催について

消防研究センター

消防研究センターでは、全国の消防技術者が消防防災の科学技術に関する調査研究、技術開発等の成果を発表するとともに、聴講者と討論を行う「全国消防技術者会議」を毎年開催しております。本会議では、消防関係者による一般発表に加え、平成29年度消防防災科学技術

賞の表彰式および受賞者による口頭発表・展示発表、さらに、消防研究センターにおける研究成果等を発表する「第21回消防防災研究講演会」も合わせて実施します。皆様の御参加をお待ちしております。

記

1	開催日	第1日 平成29年11月29日(水) 第2日 平成29年11月30日(木)
2	場所	ニッショーホール(日本消防会館) 東京都港区虎ノ門2-9-16
3	定員	両日とも650人(参加費無料)
4	内容	<p>【11月29日(水)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●特別講演 講師：西成 活裕 氏(東京大学先端科学技術研究センター教授) 演題：「渋滞・群衆運動のメカニズムと対策」(仮) ●平成29年度消防防災科学技術賞表彰作品の発表・表彰式 <p>【11月30日(木)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●消防関係者による一般発表 ●第21回消防防災研究講演会 テーマ：「2016年糸魚川市大規模火災」 内容：2016年12月22日に糸魚川駅の北側で大規模市街地火災が発生した。被災した地域は、昔ながらの町並みを保存し観光資源としていた地域で、古くからの木造の建物が多く存在していた。消火活動は出火から鎮火まで30時間以上を要し、焼損面積は30,412㎡に及んだ。この火災は、1976年10月29日に発生した酒田大火(山形県酒田市)以来の通常時大規模市街地火災となった。 多くの応援部隊が駆け付けて消火活動を実施したが、南からの強風に煽られた火勢は海岸線の道路まで到達し、147棟が焼損した。建物や市街地の防火性能の向上や消防力の充実により、通常時に大規模な市街地火災は起きないのではないかと言われていたが、いくつかの条件が重なり大規模市街地火災となった。 消防研究センターでは、鎮火後現地に研究員が入り、延焼拡大の状況、飛び火による被害の把握、煙の状況、被災街区の建物構造などについて調査を実施した。また、消防庁では、今回の大規模市街地火災を受けて「糸魚川市大規模火災を踏まえた今後の消防のあり方に関する検討会」を開催し、問題点の抽出や今後の対応について検討した。今回の講演会では、糸魚川市大規模火災の被害の状況や被災街区の建物構造、飛び火による被害の状況、被災現場での風の状況、消防隊や消防団による実際の消火活動、延焼シミュレーションによる市街地火災の拡大予測と消防活動の効果、大規模市街地火災に対する今後の消防の取り組み方について講演を行う。
5	プログラム	消防研究センターのホームページ(http://nrifd.fdma.go.jp/)を御覧ください(「イベント情報」欄の「【技術】第65回全国消防技術者会議」のリンクをクリック)。逐次詳細なものに更新します。
6	参加申込み方法	消防研究センターのホームページから、申込専用サイトにアクセスし、必要事項を入力してください。申込みを取り消す場合又は申込み内容を変更する場合にも、このサイトを御利用ください。 なお、上記の方法が難しい場合は、下記にお問い合わせください。
7	参加申込み期間	8月14日(月)から11月23日(木)まで (但し、各日定員になり次第締め切ります。)
8	問い合わせ先	消防研究センター 研究企画室 〒182-8508 東京都調布市深大寺東町4-35-3 TEL:0422-44-8331 FAX:0422-44-8440 E-mail: 65_gijutsusha@fri.go.jp